



NPO PTPL “ともいき” 便り No. 187

令和2年（2020年）2月4日発行

■立春（りっしゅん） 令和2年2月4日から2月14日までの節気

「立春」の節気に入りました。

二十四節気でいうところの、一年の始まりです。

この時季は一年で一番寒さが厳しい時季です。本便りでは再三、ご紹介していますが「極まれば萌（きざ）す」、つまり一番のピークに達した後は、次の段階に移行していく、という考えが連古より連綿と日本人の心の中に根付いています。

まさに、一番厳しい寒さのなかにも、春の兆しが徐々に感じられる時期でもあります。

2月4日は「寒の明け」。小寒の日をもって「寒の入り」とし、2月3日の「節分」までが、「寒の内（寒中）」といわれ厳しい寒さが続く30日間を経て「寒」が明けます。まさに、前述した「極まれば萌す」という表現がぴったりですね。

さて、いま、世界中が新型コロナウイルスの対応に国をあげて様々な取り組みを行っています。連日発表される感染者数並びに死亡者数に驚きとこの先どうなるのかという不安にさいなまれる毎日です。

自己対策はインフルエンザ同様、手洗い、うがい、マスクの着用、なるべく人ごみの中に出かけないということですが、不安感は免れません。

一刻も早い終息を願うのみです。

さて、この節気の期間中に日本の食文化にまつわる記念日が二つあります。

まずは、2月6日（木）の「抹茶の日」。

1992年（平成4年）愛知県の西尾市茶業振興協議会が西尾茶創業120年を記念して制定されました。茶道で釜をかけて湯をわかす道具「風炉」から「ふ(2)ろ(6)」の語呂合せで命名されたそうです。

もう一つは、同じく2月6日（木）の「海苔の日」。

1966年（昭和41年）に、全国海苔貝類漁業協同組合連合会が海苔は、古代から

日本人に好まれている伝統的な食品であり、海からの贈り物である海苔に対する感謝の気持ちを込めて制定されました。

701年の(大宝元年)制定の大宝律令で、海苔が年貢のひとつに指定されたことに基づき、翌年の律令施行日が2月6日だったため、この日を「海苔の日」に定めたということです。今も「海苔」はお歳暮、お中元の代表的な商品ですが、海苔が大宝時代から年貢のひとつに指定されていたということは驚きです。

さらにこの節気期間中に、面白い記念日があります。

それは、2月15日(土)の「春一番名づけの日」です。

気象庁によると「春一番」の語源については、石川県能登地方や三重県志摩地方以西で昔から用いられたという例を挙げ、諸説があるとしつつ、安政6年(1859年)2月13日、長崎県壱岐郡郷ノ浦町(現・壱岐市)の漁師が出漁中、おりからの強風によって船が転覆し、53人の死者を出して以降、漁師らがこの強い南風「春一」または「春一番」と呼ぶようになったと紹介しています。

一方で、長崎県では、この事件以前から郷ノ浦町で「春一」と呼ばれていたものが、事件をきっかけに広く知られるようになったそうです。

なお、「春一番」という語の新聞での初出は、1963年(昭和38年)2月15日の朝日新聞朝刊での「春の突風」という記事であるとされ、このため2月15日は「春一番名付けの日」とされています。

このネーミングからも春到来への待ち遠しい期待がうかがえます。

まだまだ、寒さ厳しい折り、くれぐれもお身体ご自愛ください。

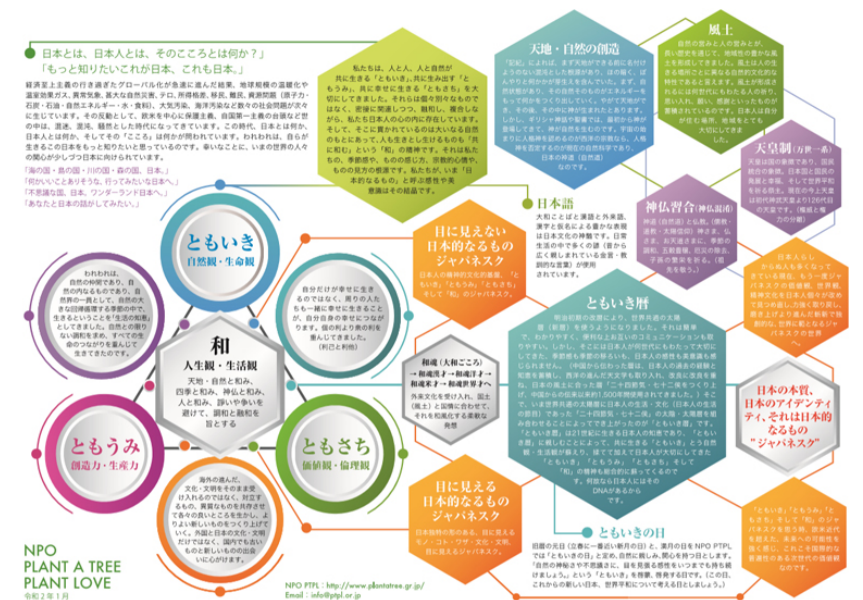
佐藤 誠 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局)

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」

●「ジャパネスク」に関して、私が長年考えをまとめた図が出来上がりました。

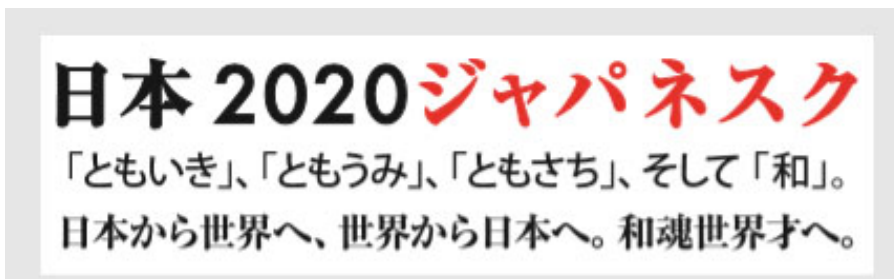
自然が荒廃し、災害も多発、その上、人間の精神的荒廃も蔓延しているこの時代、私たち日本人の「和」を大切にすることを改めて蘇らせ、人と神と仏と自然とが「共に生きる」「共に生み出す」「共に幸せに生る」ことを旨として生きることが大切です。

図のイメージをご紹介します。



図を同封いたしますので、読んでいただきご意見などいただければ幸いです。またネットを使われる方はこちらから拡大図がご覧いただけます。

<http://www.japanesque.tokyo/files/chart5.pdf>



勝田 祥三 (NPOPTPL 理事長)

■事務局便り

今年の冬は、例年よりは暖かく感じるとはいえ、寒さが身に沁みます。本文でも述べているように、新型ウイルスが拡大する懸念があります。皆さま、どうぞ、自分でできる対策を怠らず、ご自愛ください。

●日本というものを基盤において活動する NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FBをご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2020/>

「タピラス」：<http://www.tapirus.tv/>

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと富士山探し」

<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

「日本とは、日本人とは、その心とは何か？」

<http://www.japanesque.tokyo/files/chart5.pdf>

●会員募集のご案内

NPO 活動（ジャパネスク運動）を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしく申し上げます。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

電話：03-6432-5911 FAX：03-6432-5912 Email：info@ptpl.or.jp